

## 薬学教育協議会 衛生薬学担当教員会議 2022（令和4）年度活動報告

### 【第17回 薬学教育協議会 衛生薬学担当教員会議】

1. 日 時：令和5年2月27日（月）15時00分～18時30分〔受付：14時30分より〕

2. 場 所：近畿大学東大阪キャンパス 38号館2階多目的利用室

オンライン：zoom併用によるハイブリッド会議

3. 出席者：現地27名、オンライン120名（78大学）

#### 4. 議 題：

新薬学教育モデル・コアカリキュラムに関して本間 浩 先生（一般社団法人 薬学教育協議会 代表理事）から講演頂き、意見交換を行った。各大学のカリキュラム変更において有益な情報を発信して頂けた。次いで、新型コロナウイルス感染症と薬剤師の役割に関して竹上 学 先生（近畿大学病院 薬局長）から講演頂き、これまで3年間の病院における状況や薬剤師が携わってきた役割について紹介頂いた。新コアカリにおける衛生薬学（E）領域においても感染症の項目が増えており、これまで以上に重要であることを認識できる機会となった。

薬毒物試験法の出版に関して沼澤 聡 先生（昭和大学薬学部 教授）に講演頂いた。新コアカリにおいて、「死因究明」など薬毒物に関する同定・定量などが、今後重要であるという共通認識する機会となった。必携・衛生試験法に関するアンケート調査結果の紹介が行われ、第4版の発刊に向けて準備が進められているとの報告があった。

第108回薬剤師国家試験問題検討委員会 今井 浩孝 先生（北里大学薬学部 教授）より、5月13日（土）に北里大学にて開催するとの連絡事項があった。

閉会の次として原 俊太郎 先生（環境・衛生部会長 昭和大学薬学部 教授）より衛生薬学領域における新コアカリに向けての総括がなされた。

5. 資料：1. 出席者名簿

2. 新薬学教育モデル・コアカリキュラムについて

3. 必携・衛生試験法に関するアンケート調査結果

4. 新型コロナウイルス感染症と薬剤師の役割（現地参加者のみへ配布）

6. 委員長：川崎直人（近畿大学薬学部）

7. 幹事：小椋康光(千葉大学)、香川聡子(横浜薬科大学)、神野透人(名城大学)、中西 剛(岐阜薬科大学)

原 俊太郎(昭和大学)、松沢 厚(東北大学)、渡辺徹志(京都薬科大学)、川崎直人(近畿大学)

文責 川崎